

田んぼアートの田植えが行われました！

農地整備事業「大里地区」内のほ場にて

平成30年6月9日（土）、栗原市瀬峰泉谷地内の農地整備事業「大里地区」内のほ場で、稲で田んぼに絵を描く「田んぼアート」の田植えが行われました。「田んぼアート」は、平成20年から「田んぼアート実行委員会」（千葉孝行代表）をはじめとする地域の方々が主体となって毎年実施しているもので、今回で11回目となります。この日の田植えには、親子連れなど約140人が参加しました。

今年の図柄は、宮城県を本拠地とするプロ野球球団「東北楽天ゴールデンイーグルス」のマスコットキャラクター「クラッチ」です。参加者は、あらかじめ田んぼにつけられた目印をもとに色の異なる品種の稲を植えつけ、田んぼアートをつくり上げていきました。目印をつける作業は、例年「宮城県小牛田農林高等学校」の生徒たちが事前に測量して行っています。

当日は天候に恵まれ、参加した子供たちは慣れない作業で泥だらけになりながらも、2時間ほどの田植えを楽しんでいる様子でした。



田植えの状況



田植え後 皆で写真撮影



田んぼアート完成予定図

田んぼアートの見頃は**6月下旬頃**からです。
場所は、**東北本線瀬峰駅の南側約2kmの線路西側に広がる田んぼで、列車の中からも見ることが出来ます。（下り線左側）**